

～妊娠されている方へ大切なお知らせです～



RS ウイルス母子免疫ワクチン 定期予防接種のお知らせ

RS ウイルス感染症とは

- ・RS ウイルスは、年齢を問わず何度も感染を繰り返します。
 - ・呼吸器の感染症で、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するとされています。
 - ・症状は、発熱、鼻汁、咳などの軽い風邪の症状から肺炎までさまざまです。
- RS ウイルスに初めて感染するときは特に重症化しやすいといわれており、入院が必要になることもあります。

母子免疫ワクチンとは

妊婦さんがワクチンを接種し、お母さんの体内で作られた抗体が胎盤を通じて赤ちゃんに移行します。生まれた赤ちゃんを生後数か月間、RS ウイルス感染から守る効果が期待されます。

接種開始日	令和8年4月1日から *3月31日以前の接種は任意接種となり全額自己負担になります。 ご注意ください。
対象者	接種日時点で下仁田町に住民票がある 妊娠28週0日～36週6日の妊婦
接種費用	無料（公費負担）
接種医療機関	別紙医療機関一覧のとおり *里帰り出産等で県外の医療機関で接種する場合は 保健センター（☎82-5490）まであらかじめご相談ください
使用ワクチン 接種方法	組換えRS ウイルスワクチン「アブリスボ筋注用」（ファイザー社製） 0.5mlを1回、筋肉内注射

予防接種の受け方

- ①別紙医療機関一覧から接種を希望する病院を選びます。
- ②病院に電話で接種予約をします。
- ③予約日に病院へ行き、接種を受けます。
接種時の持ちもの 予診票、母子健康手帳、保険証

接種に関する留意事項

- ・妊娠週数、出産予定日について、医師と相談のうえ余裕をもって接種いただくことをお勧めします。
- ・妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと診断された場合、必ずかかりつけの産婦人科医と相談のうえ接種をご検討ください。
- ・出産予定日の14日前までに接種を終了していることが望ましいとされています。
接種後14日以内に出生した場合、赤ちゃんへの抗体移行が十分かどうかワクチン効果が確立されていないためです。

お問い合わせ先
下仁田町 保健課 保健係（保健センター内）
☎ 0274-82-5490